



ひなたぼっこ

会場となっている県営阿久和団地第一集会所の入口のドアには『毎月水曜日午前10時～午後3時 どなたでもどうぞ』という、とっても目立つ貼紙がしてあります。会場にはいると、編み物をしている女性数人、麻雀卓を囲む人、卓球を楽しむ人、コタツで暖をとる人などあふれんばかりでした。その合間を縫ってボランティアスタッフがお茶やコーヒーなどのサービスに心を配っていました。

「ひなたぼっこ」が立ち上がったのは、平成17年1月から3月まで同じ集会所で行ったボランティア講座がきっかけでした。現在中心となっているボランティアの方は、県営阿久和団地の中で、高齢者や障害者でなかなか地域の人と交流する機会の少ない方が来やすい居場所をつくりたいという思いを以前から持っていました。そして、ボランティア



講座を受講した仲間で、この思いに共感する人たちが居場所づくりを一緒にやろうと準備を始めました。その間も仲間は増えていき、その年の9月に始まったのです。それから半年。現在参加者は35人、ボランティアは15人ほどになりました。

受付で参加者は100円払います。スタッフも100円払います。参加者もスタッフも午前だけの人、午後だけの人、とにかく自由な雰囲気です。月に1回、家ではなく、ここに来て編み物をする、お茶を飲む、ひなたぼっこをするなど、居心地のいい場所になっています。

(取材：遠山、森田、芝)



サロン・ド・アーバン

SALON DE URBANE

「アーバンドエル瀬谷」の中央部にある集会所からは楽しい笑い声が聞こえてきます。1階のドアを開けるとそこは街の喫茶店のよう。コーヒーのいい香りが漂ってきます。マスター（いつからか皆さんにマスターとか店長と呼ばれるようになったそうです）の高瀬さんは数年前まで会社にお勤めしていました。退職後、自治会長の発案で高齢者の一人暮らしが多くなってきた集合住宅の中で隣近所のつながりをつくりたいと、みんなが集まれる場を作ることを任せられました。ここでは、誰でも気軽に入ってこられる喫茶店のような雰囲気を目指して、コーヒー・紅茶とケーキを有料で出しています。ケーキは比較的簡単にできて、飽きのこないシフォンケーキ2台を前日にボランティアのみなさんで手作りします。

今では「マスターに会いたくて」、「おいしいケーキを食べたくて」、「散歩の寄り道に」などみなさん気軽にフラッと寄って、楽しい時間をすごしています。取材で訪問したときは、お友達同士で来た人たちが旅行の相談をしていたり、お孫さんと一緒にケーキを食べに来た人もいました。

menu	
コーヒー	70円
ケーキ	90円
コーヒー&ケーキセット	150円
紅茶&ケーキセット	150円



このサロンを始めて満3年。「外で会うと声をかけてもらうことが多くなって、とてもうれしいご褒美です。いらっしゃった方たち同士がお友達になったり、時には体のことなど相談に乗ったり、一緒に病院に付き添ったりすることもあるんです。人を楽しませるということは、自分も楽しくなければほんとうの楽しさではないと思います。」と高瀬さんは話してくれました。そうやって人の輪ができていくんですね。

◆サロン・ド・アーバン

(原則毎月第2・4水曜日 午後1時～4時 アーバンドエル集会所)

(取材：遠山、西村、山口)



高瀬さん

今回のサロン特集で取材・見学に協力いただいたサロン・・・ひなたぼっこ、サロン・ド・アーバン、ほっとサロンゆうあい、ゆうスリー、のびのびサロンのみなさま ありがとうございます！